

7 その他

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	岡方地区コミュニティ委員会	身近な疑問を解決しよう「Part1 年金セミナー」
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	交通安全ボランティア活動
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	広報紙「さかい輪」発行
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	連合自治部広報紙「大道」発行事業
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	テーマ「広報紙」砂丘・コミナビとコミ協及びコミハウス各ミニ通信の発行(継続)
西蒲	峰岡地区コミュニティ協議会	角田山麓観光まちづくり事業

北区 岡方地区コミュニティ委員会

活動名：身近な疑問を解決しよう「Part1 年金セミナー」

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

「普段疑問に思っているが、教えてもらえる人がいない」との声がありました。そのため、定期的にセミナーを開催し、同じ疑問を持った地域の人たちが、交流しながら一緒に疑問を解決していくものです。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

今回は年金をテーマとし、講師（年金事務所職員）から、具体的な事例をあげてわかりやすく教えてもらいました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

疑問を解決していく過程で、地域の人たちの交流が深まってきました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大勢の人を集められるテーマの選定に、悩みました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

定期的に、テーマ設定し開催していきます。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：交通安全ボランティア活動

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 日常生活の中で車が主流となっていること、また近年高齢化が進み高齢者が事故に巻き込まれることが多くなった。
2. 坂井輪中学校区地域の交通実態から交通安全推進活動が重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 春、夏、秋、冬の各期に「交通安全のぼり旗」を携行し、主要交差点や通学路で交通安全指導と広報を実施した。
2. 高齢者や小、中学生の歩行中の被害防止の為、夜光反射材とチラシを配布した。
3. 年間を通して生活道路に「交通安全のぼり旗」を設置し、交通安全広報を実施した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 「交通安全のぼり旗」を目印に、地域住民の方々はじめ学童たちに注意喚起ができた。
2. ボランティア及び各自治会の協力を得て、街頭立哨を行ったことで学童たちの登下校時のマナーが良くなった。
3. 坂井輪地区（寺尾交番管内）における人身事故の発生は50件で前年比4件減少した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ボランティア及び各自治会からの街頭立哨の参加・協力を得ること。
2. 「交通安全のぼり旗」の設置場所に関する住民からの協力を得ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

交通量の多い道路を有する自治会を重点に交通事故防止活動を行う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報紙「さかい輪」発行

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 「かわら版 さかい輪」を5回発行した。
2. 広報誌「さかい輪」1回発行した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

さかい輪かわら版の発行により、地域住民に坂井輪中学校区まちづくり協議会の活動内容について関心と理解が深まり、各事業への参加者が増えている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦労したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様に「かわら版・広報紙」を発行し、地域住民の積極的参加を促し、情報提供を得られるように働きかける。

さかい輪

かわら版

第 15 号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

平成28年度定期総会を開催

平成28年5月22日（日）、西区役所健康センター棟3階会議室にて、坂井輪中学校区まちづくり協議会の定期総会が開催されました。

当日は、4月14日に発生した熊本地震で犠牲となった方々に黙祷が捧げられた後、議事が進められ、平成27年度活動報告並びに収支決算・会計報告及び、平成28年度活動計画並びに収支予算が承認されました。



総会の挨拶をする梶原まちづくり協議会会長

平成27年度で役員を退任されたお二人に、長年の地域活動への貢献に感謝し、定期総会の後、梶原会長より表彰と記念品の贈呈がありました。（表彰された方）

伊田 修一 様（輪ノ内自治会）

青木 功 様（坂井東3丁目自治会）

平成28年度の主な活動

○地域でがんばる産業マップづくり（10月発行）

○坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座
（10月予定）

○交通安全ボランティア活動事業

○坂井輪プレーパーク9（10月10日（月祝））

○地域と学校連携あいさつ運動（7月・10月）

○坂井輪を花で飾ろう2016（6月、10月の2回）

○坂井輪環境美化推進事業2016

○寺尾地下道に子ども絵画展示（通年・常設）

○子どものための安全教室（年3回実施）

○さかい輪健康づくり講座

○防犯パトロール

○交通安全街頭指導



他にもたくさんの事業を予定しています。



定期総会の様子

平成28年度 坂井輪中学校区まちづくり協議会 役員名簿

会 長 梶原 宣教（連合自治部部長）	副会長 橋本 浩一（防犯・交通安全部所管）
副会長 郷 扶二子（子ども部部長）	副会長 長谷川 洵（文化・スポーツ部、福祉部所管）
理 事 内山 健作（防火防災部部長）	理 事 富田 繁男（防火防災部副部長）
理 事 山本貴美子 （防犯・交通安全部部長、女性支援隊隊長）	理 事 齋藤 憲一（防犯・交通安全部副部長）
理 事 小林 勉（福祉部部長）	理 事 皆川 直史（福祉部副部長）
理 事 船岡 征夫（生活環境部部長）	理 事 渡辺 穰（事務局長、総務部部長 文化・スポーツ部部長代理）
理 事 石田 一正（文化・スポーツ部副部長）	理 事 目黒 浩輔（広報部部長）
理 事 堀井 賢司（産業振興部部長）	理 事 平井 孝志（事務局次長）
理 事 南雲 貴博（子ども部副部長）	

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：連合自治部広報紙「大道」発行事業

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会での中心的役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と意識啓発すると共に、地域住民に連合自治部の活動内容を周知する。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

連合自治部で行った1年間の活動事業のトピックスを掲載し、地域活性化に努めた。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所 地域課

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミュニティ活動についての理解を得られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題を判断し、地域のニーズに合ったテーマ選択に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も連合自治部の1年間のトピックスを掲載し、地域住民の意識高揚を図る。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：テーマ「広報紙」砂丘・コミナビとコミ協及びコミハウス各ミニ通信の発行(継続)

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当コミ協の機関紙として、砂丘(コミ協活動)とコミハウスナビ(ハウス活動)を主に夏・冬年2回発行してきたが、なかなか地域の皆様には、コミ協活動が分かり難く自治会と行政との関係・役割が十分に理解されていない。(継続事業)

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. コミ協の構成メンバー自治会長の任期と負担の軽減に資すること。
2. 各種活動・行事計画を「事前お知らせ伝達」で参画・参加への意識付けを高めること。
3. 機関紙として年6回(自治会長理事会に合わせ)定期発行すること。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミ協メンバーの各自治長に各事業、各部会活動への協力依頼周知をお願いしているが広報紙(回覧)を併用する事で、自治会長の負担軽減と地域の皆様へ周知向上が図られている。

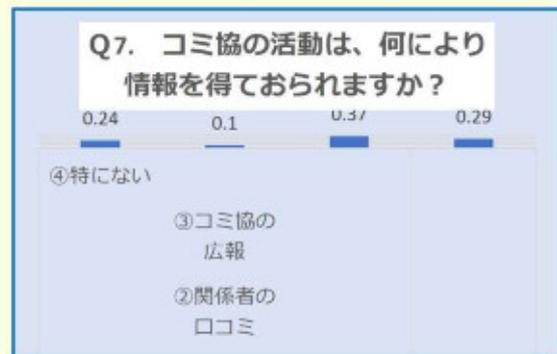
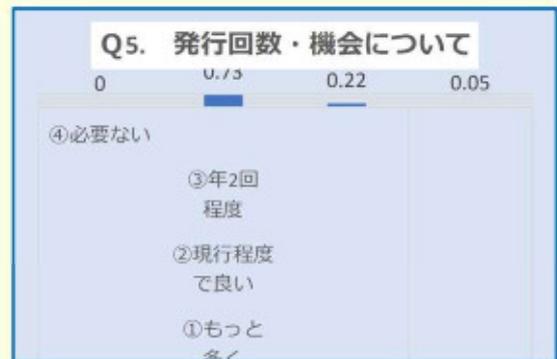
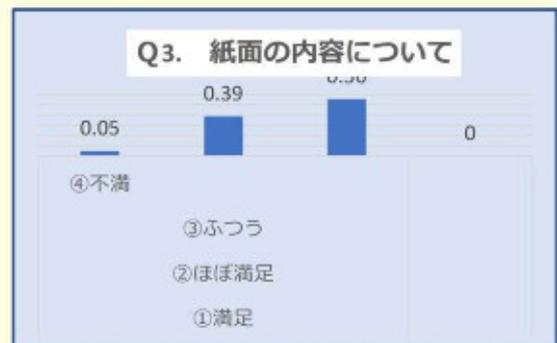
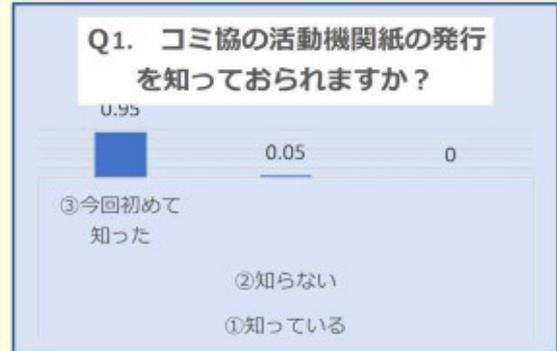
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

機関紙の編集は広く地域のアイデアを生かせるメンバーづくりで臨みたいが、現状はコミ協事務局とハウス管理人で編集している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

12月の機関紙アンケートの実施結果では、「ほぼ現状の編集・発行で良い」との回答を得ているが、時々のニーズや話題性など簡素で分かり易い機関紙にしたい。

コミ協機関紙アンケート結果報告



これからも、機関紙を発行するにあたり、参考にさせていただきます。

西蒲区 峰岡地区コミュニティ協議会

活動名：角田山麓観光まちづくり事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成21年区自治協議会総務部会で、角田山登山者などによるトイレ、ゴミ、不法駐車などの問題で地元が困っていることが議論された。対策事業開始は直ぐとりくめなかったが、「角田山麓観光の実現」というテーマが明確となった。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 1 角田山麓の現状改善、事業活動についてのワークショップ
- 2 郷土史パンフレット、パネル作成、角田山自然館のPR・活用
- 3 ガイド付き歴史探訪・ガイド付きサイクリング交流会の実施

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

松野尾地域コミ協、角田地区コミ協、区地域課、産業観光課、建設課、公民館、農協、郵便局、NPO法人旧庄屋佐藤家保存会、平成三根山藩など地区団体

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

角田山麓周辺3コミ協と地元団体、地元まち歩きガイド、区関係者などがワークショップを重ね、地域の共通テーマ「歴史を活かしたまち（地域）づくり」を総意で決めることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題の解決、地域活性化に向かって、観光客の誘致やイベントの充実を実現するため3コミ協内の参加者が日程調整して10回以上ワークショップを重ねた。

できる事業から取り組んでいくため、それぞれのコミ協が地域の資源を丸ごと活かす名所コースを作り、ガイド付き歴史まち歩きや同電動サイクル交流会などを始めた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次世代の若者が住みたい故郷づくり、自然と歴史文化を活かしたまちづくり、身近な問題の改善

